

法善寺 家庭通信

仏教

イスラム教

キリスト教

宗教を知ろう

『宗教を知ろう』パネルディスカッション
9月23日(祝)に開催

前号でもお知らせしておりましたが、秋のお彼岸のお中日(九月二十三日)に、『宗教を知ろう』というタイトルのパネルディスカッションを開催します。会場は法善寺、時間は正午から午後一時半、参加費は無料です。

今日、宗教絡みのテロや事件をニュースで目にすることも多く、宗教に対してマイナスのイメージをお持ちの方もいると思います。また、科学技術の発達によってか、目に見えないものに価値を見出すことが出来ない人が多くなっているような方々に、宗教について知り、宗教の正しい在り方を理解したい

発行所

浄土真宗東本願寺派
龍飛山 法善寺
〒110-0015
東京都台東区
東上野 6-17-3
☎03-3844-7613
編集人 中山龍之介
年 4 回発行

墓地使用者の募集

法善寺では、墓地の使用権者を募集しております。昨今の様々なご要望にお応えするため、一般的な境内墓地に加え、屋内納骨堂と合葬墓(今秋竣工予定)をご用意しております。ご親戚、知人友人の方でお困りの方がいらっしゃいますら、お気軽にご相談ください。



お寺に隣接した墓地は
アクセス良好です

ていただきたいという想いから、このパネルディスカッションを企画しました。

世界三大宗教の有識者として、キリスト教は梅ヶ丘教会の広田叔弘氏、イスラム教は日本ムスリム協会理事のサイド佐藤氏、仏教は勝林寺元住職の木曾保氏にお集まりいただきます。パネラーの方々のインタビュや、パネルディスカッションへのお申し込み方法などはホームページに掲載しております。ご参加、お待ちしております。



詳細はこちら

法善寺の行事予定

●秋季彼岸会(ひがんえ)

秋分の日前後の秋のお彼岸。

【日】 程【九月二十日(金)】

〃二十六日(木)

【法】 要【入り、お中日、明け

午前十一時〃

●宗教を知ろう

世界三大宗教の有識者によるパネルディスカッション。

【日】 程【九月二十三日(月・祝)】

正午〃午後一時半

【参加費】当寺の檀信徒は無料

●法善寺バスツアー

毎年恒例のお寺巡りを中心としたバスツアー。詳細は二ページ参照。

【日】 程【十月二十六日(土)】

【目的】地【高崎・前橋の三寺院

【参加費】おひとり様五千元

●報恩講

浄土真宗の年間最大の行事。宗祖親鸞聖人に感謝の気持ちを伝えるためお勤めをします。

【日】 程【十一月三日(日・祝)】

【法】 要【午前十一時〃

【備】 考【法要後、お齋をご用意

●帰敬式

仏弟子となり、生前法名を授ける儀式。

【日】 程【十一月三日(日・祝)】

午後二時〃

【受式礼金】おひとり様三万円〃

秋季彼岸会

九月二十日～二十六日



来る秋分の日である九月二十三日(月・祝)をお中日とした一週間、九月二十日(金)～二十六日(木)に、法善寺にて秋季彼岸会が開催されます。

お彼岸とは『かの岸』、つまりは極楽浄土を意味しています。秋分の日には太陽がほぼ真東から昇り真西に沈みますが、その真西に沈みゆく太陽を見ながら西方極楽浄土を思い浮かべたことが起源と言われています。ま

三ヶ寺巡りのバスツアー



十月二十六日(土)に法善寺バスツアーを開催します。今年は、群馬県は高崎市・前橋市にある三つのお寺を回ります。

最初の目的地は慈眼院。通称『高崎大観音』で知られる大きな観音像が有名なお寺です。観音像の胎内に入ることも出来ますので、高崎市の景色を一望することが出来ます。

次に向かうのは達磨寺。文字通り『だるま寺』として有名なお寺で、たくさんのだるまが全国から送られて奉納されています。小さいですが、だるまの展示

た、昼と夜が同じ時間で、どちらにも偏らないことから、仏教でいう『中道(偏りのないまっすぐな心)』になぞらえています。

『暑さ寒さも彼岸まで』と言われる通り、秋分の日前後はお墓参りしやすい季節でもあります。是非ご家族で一緒に参りください。初日(二十日)、お中日(二十三日)、最終日(二十六日)の午前十一時からはお勤めもしております。ご都合よろしければ、お墓参りと併せてご参詣くださいますよう、お願い申し上げます。

室もあり、歴史あるだるまが飾られています。

三つ目のお寺は、妙安寺。現在の京都・東本願寺に安置してある親鸞聖人の御木像を元々収蔵していたお寺で、『御里御坊』と呼ばれています。今は博物館預かりですが、親鸞聖人の兄弟子である聖覚上人直筆の『唯信鈔文意』も収蔵するなど、由緒あるお寺です。

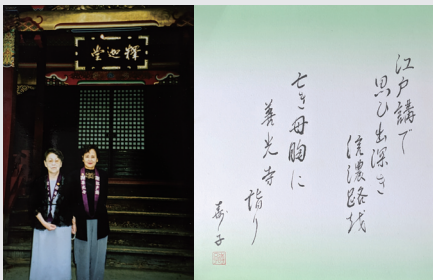
ランチはホテルメトロポリタン高崎で、メインにお魚かポークをお選びいただけます。参加費はおひとり様五千円です。で、是非ご参加ください。詳細は別紙の申込用紙をご覧ください。

お檀家さんにきいてみた



このコラムでは、法善寺のお檀家さん(門徒)にお話を訊いていきます。第二回は法善寺の世話人である安藤節子さんです。――法善寺に来られるようになったきっかけは何ですか？

『私が法善寺さんに伺うようになったのは、安藤家に嫁いからです。私の義母である壽子の実家である堀尾家が、古くから法善寺の檀家であり、そのご縁で安藤家も檀家となったそうです。壽子の母・堀尾ふゆも法善寺の熱心な門徒でした。以前は江戸講という集まりで、毎年善光寺に行っていました。それが、私もよく参加していました。ふゆが亡くなったから母・壽子は、善光寺詣りに行つた際の気持ちを持ち、『江戸講で思い出深き信濃路を亡き母胸に善光寺詣り』と短歌に



義母・壽子さんとの善光寺詣り

しております。(写真右)

その壽子が晩年足が悪くなり、付き添う形で私はよく法善寺にお邪魔するようにになりました。現在では、主人の命日が十一月六日ですので、毎月六日にお墓参りに伺っています。――お墓参りをするとどういうお気持ちになりますか？

『お寺に行ってお墓参りすると、私が今ここにいられるのは、ご先祖様のおかげだな、という想いになります。十年前に主人が亡くなってからはより一層、生前の主人の言葉や想いが心に残り、今でもそれを大事に暮らしています。』

――好きな行事は何ですか？

『十一月の報恩講です。特に手作りのお斎(精進料理)は、他では味わえないと思います。知人に話をしても、お斎を手作りしているお寺を他では聞きません。』

また、お正月の修正会も楽しみにしています。どちらも、ほぼ毎年欠かさず参加しています。――法善寺はどんなお寺ですか？

『檀家にとっては親しみやすいお寺だと思います。特に坊守さんと前坊守さんにはとてもお世話になっています。』

安藤さん、ご協力ありがとうございます！

令和初の報恩講

来る十一月三日(日・祝)、浄土真宗最大の行事である『報恩講(ほうおんこう)』が催されます。

報恩講とは、阿弥陀仏の教えを広められた宗祖・親鸞聖人の恩に報いることを目的とした行事です。本山である浅草・東本願寺では、聖人の御命日である十一月二十八日まで七昼夜、お勤めをします。本山以外のお寺の場合、それより前に開催しますので、法善寺では文化の日である十一月三日に毎年開催しています。

当日は午前十一時から法話、正午からお勤めがあります。お勤めは、正信偈・真四句目下げ(しんしくめさげ)、そして五淘(いつつゆり)の和讃を読み上げます。普段はなかなか聞くことの出来ない厳かなお勤めとなりますので、お楽しみにしてください。

お勤めが終わりましたら、精進料理である手作りのお斎(とき)をお召し上がり頂く、という流れになります。今年はその後に帰敬式(下記参照)もございしますので、是非併せてご参加くださいませ。



ご好評のお斎

カンタンな仏教

縁起ってなに？

縁起と言うと『縁起が良い・悪い』という風に使われることが多いですが、元々は縁起自体に良いも悪いもありません。『因縁生起』が略されたもので、物事は因と縁により

帰敬式のご案内

浄土真宗において、仏弟子となる儀式を『帰敬式(ききようしき)』といいます。帰敬式では仏道を歩むことを誓い、そして住職から法名を授けさせて頂きます。

法善寺でも、門徒の方向けに帰敬式を開催いたします。報恩講と同日の午後二時からの予定です。

帰敬式では、仏弟子とされる皆様のお誓いをする『三帰依文(さんきえもん)』、信仰の在り様が説かれている『改悔文(がいけもん)』を読み、剃髪をかたどった『おかみそり』を受けます(実際には剃髪は致しません)。そして最後に法名を授与して閉式です。

受式礼金はおひとり様三万円からです。お申込みはホームページから、もしくはお電話でお願い致します。

Easy English

“Easy English”では日常会話で使えるようなカンタンな英語を、ワンポイントずつ紹介していきます。第2回では、買い物をするときの英語をご紹介します。

① May I have one hamburger, please?

ハンバーガーを一ついただけますか？

② Can I try this on?

これを試着しても良いですか？

③ Would you mind giving me another sack?

もう一つ袋を頂いてもいいですか？

④ Can I use a credit card?

クレジットカード使えますか？

⑤ Do you have smaller ones?

小さめのサイズありますか？

いかがでしょうか？カンタンな単語ばかりですが、組み合わせると様々な会話を展開することが出来ます。カンタンな単語で、カンタンに英語を話してみましょう！

生じ起くる、という意味です。例えば目の前に、一杯の冷たい水があるとします。暑い夏でしたら、美味しく感じらるでしょうが、真冬には、あまり美味しくは感じられないでしょう。つまり、冷たいお茶(因)は変わらなくても、その時の季節(縁)によって自分の感じ方(結果)は変わってくる、ということなのです。

なた自身、もし同じ縁起を頂いていても、その人と同じ性格になっていない、と言えるでしょう。更けに言う、あなた自身がその人に対して、何らかの縁起を与えてないと言えるでしょうか？

地球上には七十億を超える人がいると言われていますが、知人の知人、そのまた知人と、たった六人を辿れば地球上の誰にでも辿り着くと言われています。そんな世界ですから、自分とは全くの無関係の人など存在しません。この世界では誰からでも縁を頂いているし、誰にでも縁を与えていると考えられます。一つ一つの縁起を大事にして感謝することが出来れば、心穏やかに有難い日々を過ごすことができるはずなのです。

法善寺からお願い

昨今、法善寺の門徒の方がお亡くなりになった際、当寺へご連絡を頂けないことがございます。葬儀社様が連れて来られた別のお坊さんで、通夜や葬儀を終えられ、火葬したのちに遺骨だけ当寺にお持ちになり、ご納骨をご希望されることがございます。もしくは、ご納骨も別で済まされていて、こちらには何のご連絡も頂けない場合もございます。

法善寺の墓地では、他で葬儀をあげられた方でも、ご納骨は承りしております。ただ私たちは、門徒の方の葬儀は、私たちの手できちんと務めさせていただきたい、と思っております。また、亡くなった事を把握できていない場合、後々のトラブルに発展してしまうこともございます。お手数かと存じますが、どなたかがお亡くなりになった際には、必ず当寺にご連絡頂くか、または葬儀社様に『法善寺が菩提寺であること』をお伝えして、ご連絡頂きますよう、お願い申し上げます。

●法善寺連絡先

電話 03-3844-7613
 FAX 03-3844-7942
 住所 〒110-0015

東京都台東区東上野

6-17-3

第二回終活セミナー

開催レポート

お盆の初日である七月十三日(土)、法善寺にて第二回終活セミナーを開催しました。『もしもの時のための準備や手続き』をテーマに、その道のプロである葬儀社様もご同席のもと、副住職からお話をさせて頂きました。

ご家族の方が亡くなる、という経験はあまりあることではございません。またそれに付きまとう手続きに関しましても、慣れている方はいらつしやらないと思います。今回のセミナーでは、①死亡届の提出、②財産以外に関する手続き(速やかにする手続き)、③財産に関する手続き、と三つに分けてお話をさせて頂いた、それぞれどのような準備をしておけば残された方のためになるのか、という視点でご説明させて頂きました。

二回目も定員に達し、参加者からも新たなお困りの声をお聞き致します。まだ日時等は未定ですが、次回以降も詳細決まりましたら、ご連絡させていただきます。



質問に答える葬儀社様

法善寺のお手次どころ

■自然葬祭(葬儀のご相談)

電話 03-3303-0983
 住所 〒168-0073
 東京都杉並区
 下高井戸 3-21-34

■荻野石材店(お墓のご相談)

電話 03-3841-0148
 住所 〒111-0036
 東京都台東区
 松が谷 1-8-9

■金田商店(仏具のご相談)

電話 03-3832-1948
 住所 〒111-0041
 東京都台東区
 元浅草 2-11-9

■さくら井(お弁当のご相談)

電話 03-3841-4594
 住所 〒111-0025
 東京都台東区
 東浅草 2-6-6

ご連絡の際は『法善寺の門徒です』とお申し添えください。



場所は本堂のすぐ隣



ペット納骨堂正面

ペット納骨堂

受付中



法善寺には門徒の方向けのペット納骨堂があります。こちらは、四年程前に門徒の方からご要望を頂き建立されました。日当たりも良く、お寺のすぐ隣にございますので、ご先祖様へのお墓参りと併せてご参詣頂けます。ご質問やご要望等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

お寺と考える終活『私ノート』

法善寺の特製エンディングノート『私ノート』は、主に三つのパートに分かれています。『私の人生』では自身の誕生から



今日までの歩みを、『私の家族』ではご自身の先祖や祖先についてを、そして『私の最期』では、残された方々に対するメッセージや遺産についてを書き残していただきます。また、お寺のエンディングノートですので、仏教の教えを各ページに散りばめています。サンプルが当寺に置いてあります。お求めの方はお気軽にお問い合わせください。